

令和4年1月31日
政策経営部
経営改革・官民連携担当課

令和3年度「せたがやCo-Lab」(官民連携提案窓口)による 取組み実績について

1. 主旨

区では、「世田谷区官民連携指針(平成29年3月)」に基づき、「せたがやCo-Lab」(官民連携提案窓口)を設置し、民間企業等からの提案を受け、対話と連携により公共サービスの更なる充実に努めている。また、民間企業等からの提案に限らず、区が課題と認識しているテーマを提示し、対話の中で新たな公共サービスを創出するなど、双方向の関係を構築してきた。

令和3年度の実績を取りまとめたので報告する。

2. 民間提案型による取組み【令和4年1月18日時点】

民間企業等からの提案や対話を契機に、事業所管課も交えた意見交換により連携事業を具体化している(別紙1、別紙2参照)。

3. テーマ設定型による取組み【令和4年1月18日時点】

区側から行政課題(テーマ)を投げかけ、民間企業等に提案を求めている(別紙1、別紙2参照)。

4. 今後の方向性

引き続き民間企業等との対話を続け、新型コロナウイルス感染症による影響や、令和4年度～5年度の2年間の計画期間とする「世田谷区未来つながるプラン(案)」の内容を踏まえて、効果的な連携を推進していく。

また、テーマ設定型官民連携による区政課題の解決や公共サービスの更なる充実にめざし、テーマの掘り起こしを行うとともに、民間企業等が多く登録する官民連携プラットフォームなどのツールを活用し、官民連携提案窓口の機能強化を図る。

5. 昨年度までの取組みの確定実績

区ホームページにて掲載。

トップページ>仕事・産業>官民連携>官民連携による取組み>提案窓口>民間企業等の皆様から官民連携の提案を募集しています

令和3年度 せたがやCo-Labの取組み状況



政策経営部
経営改革・官民連携担当課

官民連携の提案窓口『せたがやCo-Lab（せたがやコラボ）』では、庁内外からの官民連携の提案を随時受付中。

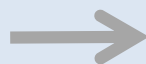
【提案方法】

①民間提案型

民間企業等からの自由な提案を随時募集。提案内容を区との協議の上、連携事業を実施。



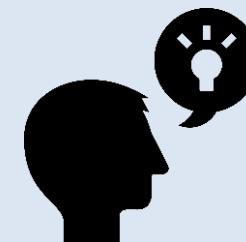
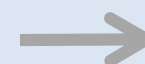
民間企業等
から提案



区（せたがやCo-lab
担当）で受付



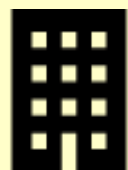
対話の実施



事業の実行

②テーマ設定型

区が連携を望む事業に対して、民間企業等の提案や参加を募集し、提案内容を区と協議を経て実施。



区HP上で協力企業
を募集



区の募集内容に対し、
民間企業等が提案・申請

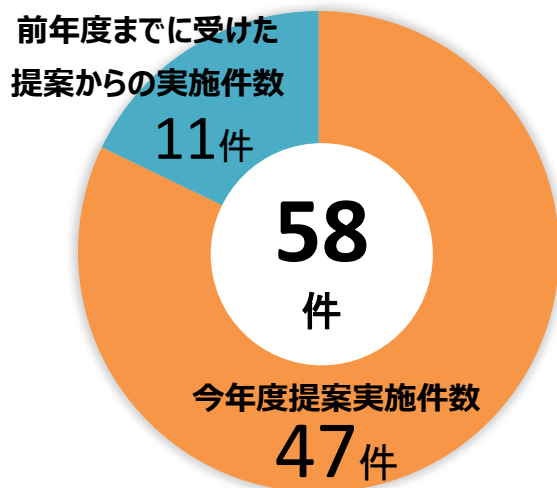


対話の実施

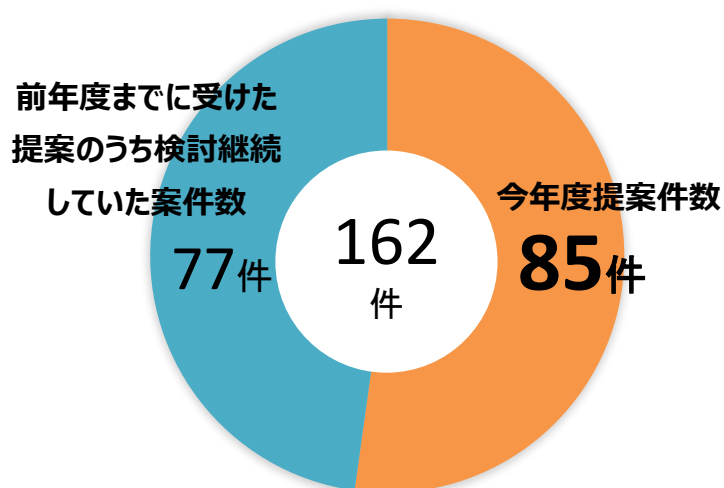


事業の実行

民間提案型実施件数

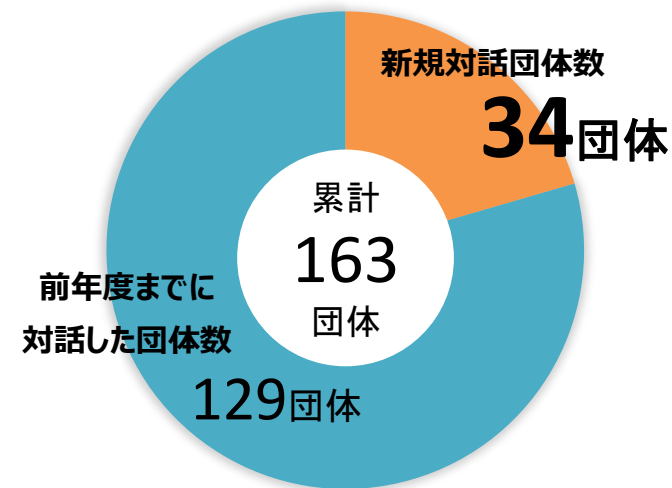


民間提案型検討件数

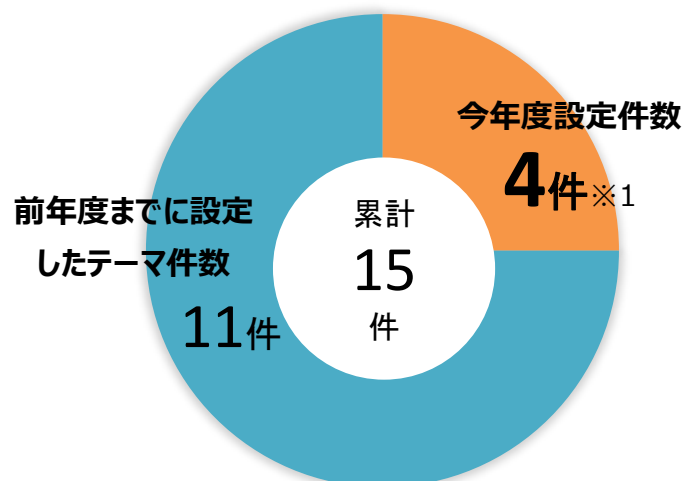


平成29年度以降の民間提案全件数:487件

対話団体数

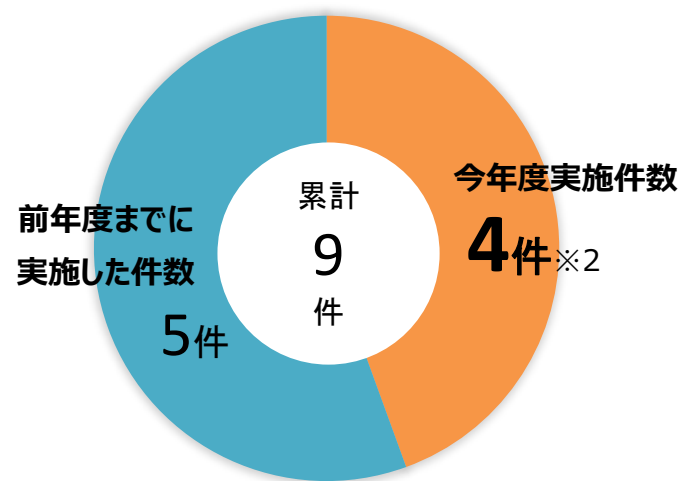


テーマ設定件数



※1 テーマ設定4件のうち、3件について企業から提案あり
詳細は別紙2を参照

サウンディング調査実施件数



※2 サウンディング調査4件について、企業から応募あり
詳細は別紙2を参照

行政課題解決を図るため、民間企業との連携による新しい公共サービスを創出。

粗大ごみの新たなリユースの仕組みに関する実証実験の実施（株式会社ジモティー）

リデュース・リユースによるごみ減量の促進及び普及啓発に向けた連携と協力に関する協定を締結するとともに、令和3年10月から「世田谷区不要品持ち込みスポット」を設置し、粗大ごみの新たなリユースの仕組みに関する実証実験を開始。

10月から12月の3か月間で約6,500点のリユース品が搬入され、そのうちの9割強が販売・譲渡に至る実績をあげており、区民に「廃棄以外の選択肢」が増え、潜在的な譲る側・譲られる側双方の利用者を掘り起こしていると考えられる。



▲世田谷区不要品持ち込みスポット（喜多見）の様子

▲事前予約の上、家庭にある不要品を持ち込んでいる様子

空き家の所有者等と事業者とをマッチングするシステムの構築（空き家活用株式会社）

空き家の発生抑制や適切な管理流通、利活用を促すため、所有者等と事業者とをマッチングするシステムの構築・運営を担っていただく民間企業等をテーマ設定型で募集し、空き家活用株式会社と協定を締結。空き家の所有者等と事業者の登録を募り、両者をマッチングするインターネット上のシステム「せたがや空き家活用ナビ」の運用を開始。



民間企業等の知名度や店舗、日常業務等を生かして区政情報を P R することで、より幅広く効果的に区政情報を周知。

「医療的ケア児の笑顔を支える基金」・「世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta」とのコラボ PR（ユニクロ世田谷千歳台店）

ユニクロ世田谷千歳台店の店内に、「医療的ケア児の笑顔を支える基金」と「エアリズム」、「世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta」と「ヒートテック」のコラボパネルを設置し、店舗に訪れた人に対して、周知。



熱中症予防、啓発に関する取組み（大塚製薬株式会社）

熱中症対策に関する啓発の一環として、啓発動画やポスター（500枚）を連携協力のもと作成し区HPや小中学校情報配信サービスシステム「すぐーる」での動画配信や新型コロナワクチン集団接種会場、小中学校をはじめとした区内施設へのポスター掲示のほか、飲料水2万本を寄贈いただき、集団接種会場での熱中症対策として活用（令和3年7月）。



民間企業等のノウハウやリソースを活用した連携、協力により様々な取り組みを実施。

試合会場でのフードドライブの実施 (株式会社リコー)

リコーのラグビーチーム「リコーブラックラムズ東京」と食品ロス削減に関する連携として、試合会場にてフードドライブ受付ブースを設置（令和3年4月10日）。

「リコーブラックラムズ東京」を保有する株式会社リコーとは、令和3年1月に、相互連携・支援協力に関する協定を締結。



災害時における電気自動車からの電力供給 (日産自動車株式会社、日産東京販売株式会社)

災害時における電気自動車による避難所等への電力供給に関する協定を締結（令和3年10月29日）。区内で災害による停電が発生した際、日産の販売会社の店舗に配備している電気自動車（EV）を無償で借り受け、EVからの給電により、避難所等で継続して電力が供給できる体制を強化。



民間企業等のノウハウやリソースを活用した連携、協力により様々な取組みを実施。

医療的ケア児とその家族をJリーグの試合に招待 (明治安田生命保険相互会社)

「世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta」の周知協力がきっかけとなり、明治安田生命保険相互会社が協賛しているJリーグの試合に「世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta」を利用している児童及び家族5組を招待（令和3年11月21日）



特別編集冊子「きみも福祉の仕事してみない？」の発行（株式会社マガジンハウス）

令和2年度に雑誌「ポパイ」を出版するマガジンハウスと区で地域産業の発展に関する協定を締結。福祉系産業の仕事の魅力をこれまでにない視点で発信し、区内の福祉事業所で働く人材を増やすため、特別編集冊子「きみも福祉の仕事してみない？」を発行（令和3年10月1日）



テーマ設定型の取組みで、冊子の配架協力事業者を募集。スーパーマーケットや銀行、書店等、幅広い業種が協力。

民間提案型による取組み（実施予定も含む）

No.	相手方	概要	取組内容	所管部
1	楽天グループ株式会社	新型コロナワクチン接種に関する取組み	区内における新型コロナワクチン接種の加速化を図るため、楽天グループが実施する楽天グループ本社ビル（楽天クリムゾンハウス）での職域接種にてエッセンシャルワーカー等や区民を対象としたワクチン接種を実施	住民接種担当部
2	川崎重工業株式会社	新型コロナウイルス感染症検査に関する取組み	川崎重工業株式会社が実施する東京都PCR等検査無料化事業に関して協定を締結し、事業実施場所の提供や区民への周知など協力体制を構築（令和4年1月14日～）	保健福祉政策部
3	UberJapan株式会社	高齢者向け集団接種会場移動支援に関する取組み	UberJapan株式会社と高齢者向け新型コロナワクチン集団接種会場移動支援に関する協定を締結し、同社が実施する移動支援の取組みを区ホームページ及び集団接種会場において周知（令和3年5月）	政策経営部
4	第一生命保険株式会社	パルスゼロメーター（血中酸素飽和濃度測定器）の寄贈	パルスゼロメーター（血中酸素飽和濃度測定器）50台の寄贈を受け（令和3年4月5日）新型コロナ対応を行う介護事業所への配布用として活用	高齢福祉部
5	大塚製薬株式会社	熱中症予防、啓発に関する取組み	区立小学校5校、中学校7校へ熱中症対策に関する校内放送用音源の提供（令和3年7月、8月）	政策経営部
6	大塚製薬株式会社	熱中症予防、啓発に関する取組み	熱中症対策に関する啓発の一環として、啓発動画やポスター（500枚）を連携協力のもと作成した啓発動画を区HPや学校緊急情報配信サービス「すぐーる」で発信するとともにポスターを新型コロナワクチン集団接種会場、小中学校をはじめとした区内施設に掲示（令和3年7月）	世田谷保健所
7	大塚製薬株式会社	熱中症予防、啓発に関する取組み	大塚製薬株式会社で作成した高齢者向けの熱中症対策チラシ（560枚）をあんしんすこやかセンターへ配架（令和3年6月）	世田谷保健所
8	大塚製薬株式会社	飲料水の寄贈	熱中症対策の一環として、飲料水の20,304本の寄贈を受け（令和3年7月7日）、新型コロナワクチン集団接種会場にて活用	住民接種担当部

民間提案型による取組み（実施予定も含む）

No.	相手方	概要	取組内容	所管部
9	大塚製薬株式会社	乾燥対策、啓発に関する取組み	区立小学校1校、中学校4校へ乾燥対策に関する校内放送用音源の提供予定（令和4年1月、2月）	政策経営部
10	大塚製薬株式会社	乾燥対策啓発	大塚製薬株式会社で作成した高齢者向けの乾燥対策チラシ（1,160枚）をあんしんすこやかセンター、保健センターへ配架（令和3年12月～）	世田谷保健所
11	株式会社ファミリーマート	フードドライブの常設窓口の設置	家庭における食品ロスの削減を図る一環として、区内の一部店舗に常設受付窓口を設置し、未使用食品のフードドライブを開始（令和3年10月1日）	清掃・リサイクル部
12	株式会社リコー	試合会場でのフードドライブの実施	リコーのラグビーチーム「リコーブラックラムズ東京」と食品ロス削減に関する連携として、試合会場にてフードドライブ受付ブースを設置（令和3年4月10日）	清掃・リサイクル部
13	株式会社ローソン	エコバックの提供	男女共同参画センター「らぶらす」が実施している生理用品無料配布の際に物品を入れるエコバック200枚の提供（令和3年6月16日）	生活文化政策部
14	株式会社ドミノ・ピザジャパン ドミノ・ピザ等々力不動前店	ピザの提供	生活困窮家庭の子どもへの支援として、ピザの無償提供を地域団体「せたがやこどもフードパントリー実行委員会」に紹介（令和3年4月）	子ども・若者部
15	株式会社Visual Innovation	絵本の提供	区の母子健康事業の一環として、絵本を無償提供予定（令和3年9月30日協定締結）。令和4年4月以降、3～4か月健診の際に区が配布	世田谷保健所
16	東京海上日動火災保険株式会社	2021ポッチャ世田谷カップへの参加	ポッチャを通じた障害者スポーツの普及・啓発のため、2021ポッチャ世田谷カップにチームとして社員5名が参加(令和3年11月27日)。また、参加者に配布するノベルティとしてメモ帳100個を無償提供。	スポーツ推進部

民間提案型による取組み（実施予定も含む）

No.	相手方	概要	取組内容	所管部
17	日本電気株式会社（NEC）	2021ポッチャ世田谷カップへの参加	ポッチャを通じた障害者スポーツの普及・啓発のため、2021ポッチャ世田谷カップにチームとして社員4名が参加(令和3年11月27日)。また、参加者に配布するノベルティとしてボールペン100個を無償提供。	スポーツ推進部
18	明治安田生命保険相互会社	2021ポッチャ世田谷カップへの参加	ポッチャを通じた障害者スポーツの普及・啓発のため、2021ポッチャ世田谷カップにチームとして社員6名が参加(令和3年11月27日)。また、参加者に配布するノベルティとしてFC東京コラボマスク100個を無償提供。	スポーツ推進部
19	トヨタモビリティ東京株式会社	カイゼンを活用した庁有物品削減	新庁舎での快適な執務環境の実現のため、保有物品量50%以上の削減を目標に、トヨタモビリティ東京の社員を招き、トヨタの働き方改善のメソッド「カイゼン」を活用して、庁舎整備担当部の保有物品を削減（令和3年4月、5月）	庁舎整備担当部
20	日産自動車株式会社 日産東京販売株式会社	災害時における電気自動車からの電力供給	災害時における電気自動車による避難所等への電力供給に関する協定を締結（令和3年10月29日）し、電気自動車からの給電により避難所等で継続して電力が供給できる体制を強化	財務部
21	株式会社マガジンハウス	地域産業の発展及び活力ある個性豊かな地域づくりに関する取組み	令和2年度に雑誌「ポパイ」を出版するマガジンハウスと区で地域産業の発展に関する協定を締結。福祉系産業の仕事の魅力をこれまでにない視点で発信し、区内の福祉事業所で働く人材を増やすため、特別編集冊子「きみも福祉の仕事してみない？」を発行（令和3年10月1日）	経済産業部
22	よい仕事おこしフェア実行委員会 （事務局：城南信用金庫）	産業の振興・地域経済活性化に関する取組み	世田谷区及び「よい仕事おこしフェア実行委員会（事務局：城南信用金庫）」双方の有するネットワークや資源を活用した産業の振興、地域経済活性化に向けた連携・協力に関する協定を締結（令和3年10月22日）し、産業の振興や地域経済の持続可能な発展に取り組む	経済産業部
23	トヨタモビリティ東京株式会社	障害者施設の自主生産品の提供	店舗イベント開催時に障害者施設の自主生産品"はっぴいハンドメイド"の製品計2,020個を買い取り、顧客へのノベルティとして提供（令和3年9月に850個、11月に1,170個）。併せて障害者施設自主生産品カタログ「はっぴいハンドメイドBOOK」を13店舗に約1,400冊配架し、ノベルティと共に提供。	障害福祉部
24	明治安田生命保険相互会社	障害者支援	障害者支援のため、品川支社やその姉妹組織で障害者施設の自主生産品の注文販売を実施（令和3年10、11月）	障害福祉部

民間提案型による取組み（実施予定も含む）

No.	相手方	概要	取組内容	所管部
25	明治安田生命保険相互会社	Jリーグの試合観戦への招待	明治安田生命保険相互会社が協賛しているJリーグの試合に、「世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta」を利用している児童及び家族5組を招待（令和3年11月21日）	障害福祉部
26	明治安田生命保険相互会社	オンライン会社見学の配信	明治安田生命保険相互会社が実施する子ども向けオンライン授業（会社見学）の配信について「世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta」にて周知（令和3年8月）	障害福祉部
27	明治安田生命保険相互会社	オンライン会社見学の配信	明治安田生命保険相互会社が実施する子ども向けオンライン授業（会社見学）の配信について世田谷区内の青少年交流センターにて周知（令和3年7月）	子ども・若者部
28	一般社団法人 家族のためのADR推進協会	相互連携による取組みの周知	離婚前後の親の支援の充実を図るため、法人が実施する「パパとママの離婚講座」を区が配信するメルマガ等にて周知し、法人は、講座受講者の区民に対し、区が実施する「養育費相談会」等を周知するなど相互協力に関する協定を締結（令和3年5月10日）し、連携・協力体制を構築	子ども・若者部
29	株式会社セック	プログラミング講座の実施	株式会社セックと若者の社会参加に向けた支援を目的とした協定を締結（令和3年11月24日）し、同社による教材の提供や講師派遣などにより、世田谷若者総合支援センターにてプログラミング講座を開催予定	子ども・若者部
30	第一生命保険株式会社	スポーツ施設（野球場）の活用	第一生命保険株式会社が保有する野球場を日本女子体育大学と区が共同で借り受け、「J&Sフィールド」として、令和4年1月以降、利用可能時間帯の一部を区民向けスポーツ施設として開放。	スポーツ推進部
31	第一生命保険株式会社	「健康せたがやプラス1」の認知度調査の実施	第一生命が区内の顧客向けに、「健康せたがやプラス1」に関する認知度調査を令和3年12月より実施。調査結果を区へフィードバック予定。	世田谷保健所
32	トヨタモビリティ東京株式会社	車椅子利用者用トイレ等の周知	車椅子利用者用トイレ等を設置している区内13店舗をせたがや i M a p（世田谷区電子地図情報配信サービス）で掲載（令和3年7月）	都市整備政策部

民間提案型による取組み（実施予定も含む）

No.	相手方	概要	取組内容	所管部
33	合同会社交通安全まちづくりカンパニー(CHARICO)	交通安全啓発に関する取組み	地域において交通安全対策を行っている団体への支援及び高校生から高齢者まで、世代別で交通ルールの遵守に関する講習プログラムの開発に関する協定を締結（令和4年1月）し、交通安全啓発に関する取組みを実施予定	土木部
34	認定特定非営利活動法人カタリバ	不登校児童支援	区立小・中学校の不登校または不登校の傾向がみられる児童・生徒の社会的自立や学級復帰に向けた継続的な支援につなげていくことを目的に、「令和3年度オンラインを活用した不登校児童・生徒に対する支援事業に関する協定」を締結（令和3年7月）し、電子会議システム等を活用した対象児童・生徒に対する学習支援や相談援助を実施	教育委員会事務局
35	株式会社ジモティー	ごみ減量の促進及び普及啓発に関する取組み	リデュース・リユースによるごみ減量の促進及び普及啓発に向けた連携と協力に関する協定を締結（令和3年9月17日）するとともに、本来であれば粗大ごみとして排出するべきものを、まだ使用できるものであればリユース品として持ち込むことができる「世田谷区不要品持ち込みスポット」を設置し、粗大ごみのリユースを促進させるスキームの実証実験を開始（令和3年9月21日）	清掃・リサイクル部
36	株式会社きらぼし銀行	ふるさと納税PR	世田谷区へのふるさと納税をPRするため、「世田谷区へのふるさと納税寄附募集」チラシ（50枚）を区内店舗に配架（令和3年11月下旬～）	政策経営部
37	株式会社みずほ銀行	ふるさと納税PR	世田谷区へのふるさと納税をPRするため、「世田谷区新型コロナウイルスをともに乗り越える寄附金」チラシ（200枚）、「世田谷区へのふるさと納税寄附募集」チラシ（200枚）を区内店舗に配架（令和3年11月下旬～）	政策経営部
38	株式会社三井住友銀行	ふるさと納税PR	世田谷区へのふるさと納税をPRするため、「世田谷区新型コロナウイルスをともに乗り越える寄附金」チラシ（70枚）、「世田谷区へのふるさと納税寄附募集」チラシ（49枚）を区内店舗に配架（令和3年12月上旬～）	政策経営部
39	城南信用金庫	ふるさと納税PR	世田谷区へのふるさと納税をPRするため、「世田谷区へのふるさと納税寄附募集」チラシ（50枚）を区内店舗に配架（令和3年11月下旬～）	政策経営部
40	昭和信用金庫	ふるさと納税PR	世田谷区へのふるさと納税をPRするため、「世田谷区新型コロナウイルスをともに乗り越える寄附金」（50枚）、「世田谷区へのふるさと納税寄附募集」（50枚）の2種類のチラシを区内店舗に配架（令和3年11月下旬～）	政策経営部

民間提案型による取組み（実施予定も含む）

No.	相手方	概要	取組内容	所管部
41	世田谷信用金庫	ふるさと納税 P R	世田谷区へのふるさと納税をPRするため、「世田谷区新型コロナウイルスをともに乗り越える寄附金」（30枚）、「世田谷区へのふるさと納税寄附募集」チラシ（30枚）を区内店舗に配架（令和3年11月下旬～）	政策経営部
42	明治安田生命保険相互会社	ふるさと納税 P R	世田谷区へのふるさと納税をPRするため、社員向けポータルサイトへ「世田谷区医療的ケア児の笑顔を支える基金」の情報を掲載（令和3年4月）	政策経営部
43	株式会社ユニクロ 世田谷千歳台店	店舗内でのパネル掲示	ユニクロ世田谷千歳台店にて「エアリズム」とコラボレーションし「世田谷区医療的ケア児の笑顔を支える基金」とのタイアップパネルを店舗内に掲示（令和3年3月～10月）	障害福祉部
44	株式会社ユニクロ 世田谷千歳台店	店舗内でのパネル掲示	ユニクロ世田谷千歳台店にて「ヒートテック」とコラボレーションし「世田谷区医療的ケア相談支援センター Hi・na・ta」とのタイアップパネルを店舗内に掲示（令和3年11月～令和4年2月予定）	障害福祉部
45	第一生命保険株式会社	顧客向け区政情報の発信	L I N Eにより区内顧客に対して、正社員マッチング「世田谷で働こう!」、短時間/短期間の就業マッチング「世田谷Work&Plus!」、シニア就労マッチング「R60-SETAGAYA-」を周知（令和3年11月30日～）	経済産業部
46	第一生命保険株式会社	顧客向け区政情報の発信	・L I N Eにより区内顧客約100人に対して、「熱中症注意喚起」について周知（令和3年7月～9月） ・L I N Eにより区内顧客に対して、「おうち時間の有効活用」について周知（令和3年10月～） ・「健康せたがやプラス1」「熱中症注意喚起」「受動喫煙防止対策」「禁煙」に関する啓発のチラシを顧客向けに対面で配布（令和3年7月～）	世田谷保健所
47	東急株式会社	SDGsトレインへのポスター掲示	東急が、東横線、田園都市線、世田谷線においてSDGsを啓発する目的でラッピング広告列車「SDGsトレイン2021」を運行。車内に区の取組みポスター「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」（令和3年9月～11月）「せたがや版RE100」（令和3年12月～令和4年2月）を掲示。	政策経営部
48	明治安田生命保険相互会社	区の取組みの啓発	再生可能エネルギーの利用拡大を目指す取組み「せたがや版RE100」に賛同企業として登録。せたがや版RE100についてのリーフレット、チラシ（各100枚）を区内事業所に配架し、また区内で活動する社員にも配付し、せたがや版RE100の啓発を実施（令和3年12月開始）。	環境政策部

民間提案型による取組み（実施予定も含む）

No.	相手方	概要	取組内容	所管部
49	株式会社リコー	世田谷区医療的ケア相談支援センターPR	令和4年1月からスタートするラグビーリーグ戦『ジャパンラグビーリーグワン』のうち、駒沢オリンピック競技場を使った「リコーブラックラムズ東京」のホストゲームにおいて、試合開始前のオーロラビジョンで、「世田谷区医療的ケア相談支援センターHi・na・ta」の利用者からの応援メッセージ（90秒程度）を放送予定	障害福祉部
50	明治安田生命保険相互会社	世田谷版WEラブ赤ちゃんプロジェクト協力	世田谷版WEラブ赤ちゃんプロジェクトに関して、品川支社および区内店舗にて店頭でのポスター掲示およびチラシ（約200枚）を店舗にて配布（令和3年9月～）	子ども・若者部
51	トヨタモビリティ東京株式会社	まちづくり通信の配架	トヨタモビリティ東京淡島通り店にて、世田谷総合支所街づくり課が発行する「太子堂五丁目・若林二丁目地区街づくり通信」の最新号と前号を20部ずつ配架（令和3年6月～）	世田谷総合支所
52	大塚製薬株式会社	出張授業の実施	桜丘中学校にて、教職員を対象に大塚製薬の社員1名が講師となり「熱中症の予防・啓発」に関する講座を実施（令和3年5月12日）	政策経営部
53	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	出張授業の実施	松沢保育園にて、全年齢の園児を対象に花王グループカスタマーマーケティングの社員2名が講師となり「手洗い教室」に関する講座を実施予定（令和4年2月22日）	政策経営部
54	花王グループカスタマーマーケティング株式会社	出張授業の実施	玉堤小学校にて、5年生の3クラスを対象に花王グループカスタマーマーケティングの社員2名が講師となり「プラスチックごみ」に関する講座を実施予定（令和4年2月24日）	政策経営部
55	株式会社明治	出張授業の実施	区立小学校1校、中学校4校にて明治の社員1名が講師となり水分補給や体づくりに関する出張授業を実施（令和3年5月～7月）	政策経営部
56	サミット株式会社	出張授業の実施	区立小学校5校、中学校1校にてサミットの社員1名が講師となり出前授業を実施（令和3年7月～11月）	政策経営部

民間提案型による取組み（実施予定も含む）

No.	相手方	概要	取組内容	所管部
57	第一生命保険株式会社	認知症予防DVDの寄贈	認知症予防の一環として、第一生命制作の認知症予防体操DVD100枚の寄贈を受け（令和4年1月）、自主グループ等へ配布予定	高齢福祉部
58	第一生命保険株式会社	万歩計の寄贈	万歩計120個の寄贈を受け（令和3年9月）、公益財団法人世田谷区保健センターへの新規委託事業として令和3年度に開始した「高齢者の運動習慣定着支援事業」において活用	世田谷保健所

テーマ設定型による取組み

No	概要	取組内容	提案・参加企業数	所管部
1	世田谷区×POPEYE 特別編集冊子『きみも福祉の仕事してみない?』の店舗や施設等での配架協力	福祉産業の魅力発信を目的にファッション・カルチャー誌であるPOPEYEとタイアップして製作した冊子「きみも福祉の仕事してみない?」の配架協力事業者を募集。スーパーマーケットや銀行、書店等、幅広い業種が協力	民間企業6社	経済産業部
2	オンライン面接ができるスペース「Yell Room Lite」の店舗等などでのPR協力	池之上青少年交流センターに設置している就職活動中の若年者が安定した通信環境でオンライン面接ができるスペース「Yell Room Lite」の周知協力事業者を募集。テーマ設定期間中、企業からの提案はなかったが、「Yell Room Lite」の運営開始時には京王電鉄株式会社が協力し、京王井の頭線池ノ上駅にてポスターを掲出。	提案なし	経済産業部
3	医療的ケア相談支援センターの周知協力	「世田谷区医療的ケア相談支援センター」のPR動画放映やリーフレットの配架協力事業者を募集。株式会社三井住友銀行および明治安田生命保険相互会社から協力の提案があり、明治安田生命保険相互会社は、世田谷区医療的ケア相談支援センターを利用している児童及び家族をJリーグの試合に招待するなど、他の取組みにつながっている（民間提案型による取組みNo.25、26参照）。	民間企業2社	障害福祉部
4	空き家の所有者等と事業者とをマッチングするシステムの構築	空き家所有者等と事業者をマッチングするシステムの構築とともに、所有者等と事業者の仲介役を担う民間企業等を募集。提案内容について事業者選定の結果、空き家活用株式会社と協定を締結し、「せたがや空き家活用ナビ」の運用を開始した。	民間企業2社	防災街づくり担当部

サウンディング型市場調査の実施

No	概要	内容	参加企業数	所管部
1	旧池尻中学校跡地活用事業に関するサウンディング型市場調査	令和3年2月に策定した旧池尻中学校跡地活用の新たな基本コンセプトに基づき、跡地活用の検討を進めていくにあたり、事業者の参画可能性や事業条件、提案する事業内容等について対話を実施した（令和3年7月）	16団体	経済産業部
2	農福連携事業に関するサウンディング調査	担い手が不足する区内農地を活用した農福連携事業の検討を進めるにあたって、事業者の参画可能性や事業条件、提案する事業内容等について対話を実施（令和3年7月）。サウンディング調査結果をもとに事業内容等の整理を行い、プロポーザルによる事業者の公募および事業者選定を実施した。	8団体	経済産業部 障害福祉部
3	中小規模ESCOサウンディング型市場調査	ESCO事業を拡充するにあたって、区立中小規模施設に対してESCO事業を実施できるか等、事業者の参画可能性等を探るため対話を実施（令和3年12月）	4団体	施設営繕担当部
4	千歳温水プールESCOサウンディング型市場調査	世田谷区立千歳温水プールへのESCO事業導入を検討するにあたり、事業者の参画可能性等を探るため対話を実施予定（令和3年9月～11月参加受付。ヒアリングを令和4年4月に実施予定）	1団体	施設営繕担当部